

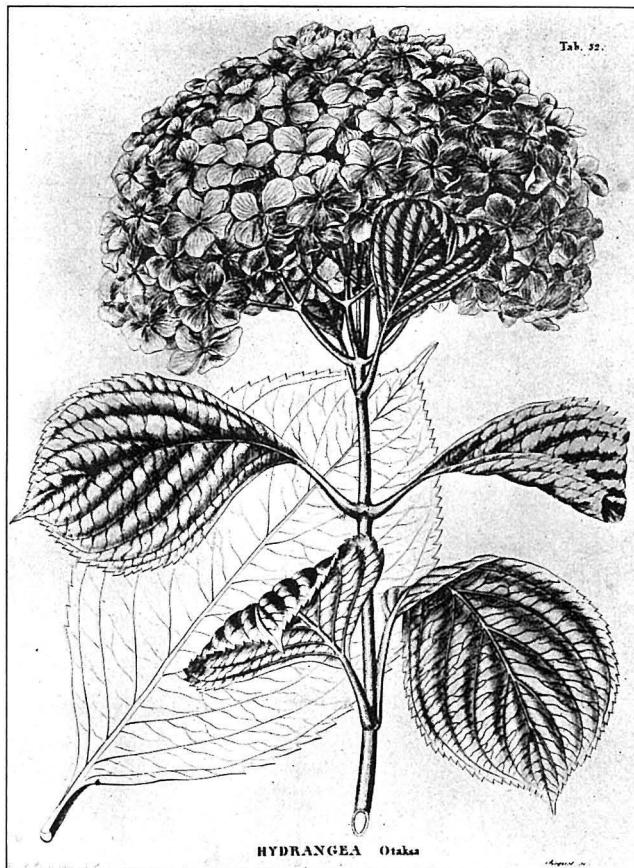
く」トハル、モノデ孔雀島上ニヨグレーブネル教授ニヨンバ八百年以上ノ樹齡ヲ持ツテ居ルモノガアルトノ事デアル
予等ハ島内ヲ巡見シナガラグレーブネル教授ノ「アイヘ」ノ話ヤ又芝生ノ上ニ可ナリ多數ニ見出サレタ胎芽ヲ生ズル禾本科ノ一種 *Poa bulbosa* ナドノ話ヲ聽キ其レカラ又島内ノ一小部ニアル「ハイヂ」状ノ處ニ至リ己ニ花ノ咲イタ *Genista pilosa* 等ヲ採ツタ此處カルナモ澤山アツタガ時期尙早ク乾枯シテ居ツタ、因ニ此カルナト稱スル植物ハ真夏頭花盛リテ獨逸人ナドハ其ノ花見ニ遠足ニ出掛ケルガ日本ナドニハ見ラヌ花見デアル

(未完)

○おたかせ Otaksa トベ果シテシーボルド來朝時代ニ於テ おもかせ II 翻ベル和名ナリシカ

澤田武太郎

P. F. STEBOLD ト J. G. ZUCCARINI トハ共著 *Flora Japonica* 第1卷 (1835 我天保六年出版) 一百〇五頁ヲ繙イテ見ルヘ *Hydrangea* Otaksa ト新學名トシニノリ翻ベル原記載ガアリ又其百〇六頁ニ列ハ *Nomen Japon. Otaksa*トアル、尙其五十十一圖版ニ就テ見ルニ此學名ニ對スル植物ガあぢたるデアルコト疑ノ餘地ガナニ (次頁ノ寫眞參照) ハニガ *Otaksa* ハあぢたるノ方言デアツタロウトノ想像ガ起ツテ來ル
此點リ謬シテ E. H. WILSON ハ疑フ以テ Stebold's name "Otaksa" is not used in Japan today and Japanese scholars fail to understand its derivation (Journal of Arnold Arboretum, Vol. IV. No. 1, p. 237 [1923].) ト放詫シテ居ルガ、大正十五年再版ノ吳秀三著「ハーバード先生」ハ書リハ次ノヤウリヤハ簡單リ片付ケテアル



おたくさ Otaksa ムベ果シテシーホルド來朝時代ニ於テあぢさるニ對スル和名ナリシカ
(SIEBOLD ET ZUCCARINI, Flora Japonica 三二)

Tab. 52.

おたくさ Otaksa ムベ果シテシーホルド來朝時代ニ於テあぢさるニ對スル和名ナリシカ

【牧野云フ】あぢさるハ昔ヘあづさぬト
呼ビ後ニあぢさるトナツタ、從來之レニ

紫陽花ノ漢名ガ充テ、アルガ紫陽花ハ元

ト支那ノ有名ナ詩人ノ白樂天ガ始メテ或

ル山花ニ興ヘタ名デ其レガ果シテ此あぢ

さぬダカ何ンダカ判然タル證據ハナイ其

レ故小野蘭山モ疾クニ之レヲ否定シテ居

ル次第ダガ然シ蘭山ノ言フ様ニ之レヲ秘

傳花鏡ノ八仙花ニ充ツルモ亦考ヘモン

ダ、此ンナ花木ハ木蘭連翹、瑞香ナド

ノ様ニ大抵支那カラ來タモノガ多イガ獨

リ此あぢさるハ何ンダカ唐奥イ姿ハシテ

居ルモノ、私ハ此レハ原ト我日本デ出生

シタモノデハナイカトノ疑ヒヲ有ツテ居
ル、シーホルドガ種名トシテ用キタあぢ
さる即チ Hydrangea Azissai へがくさ
う一名がくあぢさるノ事ニ普通ニ云フあ
ぢさるデハナイ、シーホルドヘあぢさる
ノ和名ヲ私ニ變更シテ我が開テ目ジリヲ
下ゲタ女郎ノお瀧(源氏名ハ其扇の姓)ノ
名ヲ之レニ用キテ大ニ其花ノ神聖ヲ瀆シ
タ、脂ギツタ醜イ淫賣婦ト艶麗ナ無垢ノ
あぢさる、此清淨ナ花ハ長ニ糞汁ニ汚
サレテシマツタ、ア、可哀想ナ我ガあぢ
さるヨ

ソノギ
シ・ホルドノ妻楠本お瀧（源氏名其扇）

即チ Siebold ガ初度ノ長崎在留中愛妻楠本お瀧ト云フ
婦人ガアリ Siebold ハ常ニ彼女ヲオタクサ Otaksa ト
呼ンデキタ（三百四十八頁）又「先生は日本を去りて後多
年、一意日本植物蒐集材料に關する著作と整頓とに盡し
たるが、その間出版されたる著書「日本」にもソノギ（其
扇）とし又オタクサン（御瀧さん）として一度肖像ヲ掲ゲ
「日本植物誌」に於ては紫陽花^{アツチヤハ}に *Hydrangea Otaksa* の名
を附したりなどせるは彼が日本の風物動植物を憶ふにつれ
て別けて楠本氏にその心を引付けられて絶えず思ひ慕ひ
居りしならん（四百四十七頁）トアル

然ラバ Siebold ハ *Hydrangea Otaksa* ノ種名ノ由來

（あぢやるのくわの名となるお瀧さん間に咲く花明るみに出づ
結綱子）

ロウガ、私ハ推察スルニ嘗テ大正七年九月二十日出版本誌第二卷第一號ニ於テ牧野富太郎氏ガ書カレテ居ル通
リ Siebold ハ世人ガ思フ程ナ植物分類ノ大學者デハナク *Flora Japonica* ハ唯 Siebold ガ其材料ヲ我日本ニ
蒐メテ之ヲ歐洲ニ廻シ其命名記載ノ植物學的ノ仕事ハ専ラ共同著者トナツテキル Zuccarini ガ彼ノ土ニ於テ
濟シタニ過ギナイカラ（ソレハ丁度明治大正ニ於ケル FAURIE ノ様ナモノダ）*Hydrangea Otaksa* ノ場合ニ於
テハ Siebold ハ命名材料供給者ノ立場カラハ Otaksa ハ Nomen Japon ト言ツテ居ナケンバナラナカツタノデ
ハナカツタロウカ、或ハ Zuccarini ノ獨斷デ Otaksa ノ意義ガ解決出來ヌ所カラ Nomen Japon トシテ片付ケ
テシマツタノデハアルマイカ、本誌第一卷第一號ノ口繪あぢやるノ牧野氏説明文ニアル通リ「是レハ多分命名

まほがに一樹トハドンナモノ歟

者ガ何カノ間違ヲシタモノデハナイカト思フ」

兎ニモ角ニモ當時ノ先進文明國人 PHILIPP FRANZ VON SIEBOLD ハ或ハ黃色人種ノ日本婦人ヲ愛人ニシタコト
ガ社交ニ於ケル大イナル Handicap ニナルノデ白口ノ榮譽リ對シテ此一事ニ就テハ口ヲ噤マナケレバナラナカ
ツタノデハナカッタノデアロウカ、否カ
ソレダノニ WILSON ハ Japanese scholars fail to understand ナンテ馬鹿ナコトヲ放言シタモノダ日本ノ分類學
者如何ニ賢明ナリト雖モシーボルドノ夜伽ノ名マデ知ロウ筈ハナイ、コンナコトニナルトスルト後日ノ爲メW
氏ガ東洋旅行中携帶シタ夫人ノ戸籍謄本デモトツテオカネバナルマイジャナイカ

○まほがに一樹トハドンナモノ歟

久 内 清 孝

Mahogany ト云フ名詞ハ英語讀本デお馴じみノ語デアルガ日本人ニハ居ナガラ其正體ヲ會得スルコトハ困難デ
アルト思フカラ以下聊カまほがに一ヲ紹介スル、但シ實物ヲ見ズニスル紹介デアルコトヲ斷ツテ置ク ●ま
ほがに一トシテ世ニ知レテ居ル木ハ通常二種デアツテ何レモ中央亞米利加ヲ中心トシ其南北ニ自生シ他ニハ絶
對ニ天然生ナキ種類デせんだん科 Meliaceae = 屬シテ居テ學名ヲ Swietenia Mahagon Jacq. (S. Mahagoni L.)
ト云フモノト S. macrophylla King. トシフモノトアルガ前者ガ正真正銘ナまほがに一デアル ●屬名 Swie-
tenia ハ千七百六十年リ JACQUIN ノ始テ命名シタモノデ當時ノ獨逸國ノ女帝 MARIA THERESA ノ侍醫 GERARD
VAN SWieten ノ名ニ因シダモノデ種名 Mahogon ガ土語デ英語ノ Mahogany ハ其轉化デアル ●まほがに
一樹ハ能ク成長スル時ニハ高サ八十乃至百呎ニモ達シ樹幹ハ直徑四乃至六呎ヲ示ス就中樹ノ基部ハ非常ニ肥大
シ八月ノ候白色又ハ淡紫色ノ小花ヲ開キ十、十一月頃ニ至リ暗褐色ノ蒴果ヲ著ク其長サ三乃至六吋幅員一乃至